

行政評価シート【分野別施策】

分野別施策 5－①

産業の活性化を促進する

目指す姿

- 社会の変化に対応できる経営の敏しょう性が備わっており、企業の競争力が向上しているとともに、持続可能な産業が構築されています。また、新しい企業が創業し、老舗企業も時代に合せて事業を変革しています。

成果指標の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
知的対流★ ¹ を通じた交流人数【累計】	446 人	628 人	755 人			1,046 人
産業間連携ネットワークによる 新商品開発・新事業創出件数【累計】	26 件	36 件	39 件			36 件
中小企業の相談受付件数★ ² 【累計】	2,831 件	10,406 件	15,014 件			13,681 件

★¹ 共同研究・協働・人材育成等のこと。

★² 関係支援団体を含めた相談受付件数のこと。

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・最先端の技術開発や実証プロジェクトに市内企業が触れる機会を創出するため、企業版ふるさと納税を原資として波力発電プロジェクトに資金支援を行うとともに、平塚新港での海の肥料施肥プロジェクトや健康経営推進コンソーシアムの実施を支援しました。
- ・産業活性化会議及び産業活性化推進会議を開催し、情報共有や意見交換を行いました。また、女性経営者や子育てに関するプロジェクトを立ち上げたほか、産業間の連携プロジェクトを支援し、新商品開発に繋げました。
- ・関係機関と連携して起業家育成のためのセミナーの共催や、起業に関する情報提供や事業計画の作成支援を行うとともに、創業に関する相談会を開催することで、市内での創業を支援しました。また、女性のライフステージや多様な価値観に合わせたプログラムの修了生が自発的に交流や学び合える環境整備を支援しました。

- ・様々な経営課題の解決に向けて、関係機関と連携したセミナーの開催や事業者への専門家派遣を実施し、事業者の経営力強化に取り組みました。また、各種補助制度や奨励金により、雇用及び労働環境の改善、脱炭素化の取組に対する支援を行いました。加えて、金融機関等と協議を図りながら制度融資を実施し、経営の安定化を支援しました。
- ・認定された湘南ひらつか名産品及び特産品について、イベント出店やチラシ配布を行い、普及促進をしました。
- ・スマートフォンと二次元バーコードを活用し、電子マネー類似機能兼行政ポイント「スターライトマネー」を実施するとともに、加盟店からの決済手数料を一部活用しながら、社会課題解決のための関係基金を積み立てました。

施策を推進する上での「課題（・）」と、課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・経済情勢や事業者ニーズを反映した各種制度により、経営課題を総合的に解決し、経営安定化や事業拡大のための支援を継続する必要があります。
- ⇒関係機関と連携し、経費補助や経営相談、脱炭素化、DX化等の支援を継続します。
- ・産業間の連携による活動に対し、効率的な支援を行う必要があります。
- ⇒産業分野を横断して課題を共有するとともに、効果的な産業活性化施策を検討します。
- ・これまで集積してきた「知」を社会的課題などへの取組に応用できるようにするとともに、新たな知的対流が興りやすい環境を醸成する必要があります。
- ⇒先端技術の研究開発拠点としてのブランドイメージが高い都市として、国内外の企業や学術機関等から、より一層認知されるよう、効果的な情報発信を実施することで、知的対流につなげます。また、脱炭素化セミナー等を開催し、好事例を通して取組を促します。
- ・地場産品の普及促進のため、名産品等の認知度を高める方法を検討していくとともに、ふれあいマーケットでは買い物以外の付加価値を提供し、新規来場者を増やす必要があります。
- ⇒名産品のブランド価値の向上を図り、効果的に市内外に広く普及させるとともに、ふれあいマーケットではイベント等を開催し、生産者と消費者とのふれあいの場の充実を図ります。
- ・電子マネー類似機能兼行政ポイントの発行の有用性を検証する必要があります。
- ⇒独自アプリの活用が市内消費活動の推進や社会課題の解決に繋がっていくという好循環を創り出すことを目指しつつ、産業視点での取組強化となるか検証します。

関連事業

産業間連携促進事業、知的対流推進事業、起業家支援事業、中小企業経営支援事業、中小企業金融支援事業、平塚産品普及促進事業、商工業者支援団体活動補助事業、地域共創ポイント事業、脱炭素情報交流促進事業